

男女平等をめぐる意識改革

男女が互いについての理解を深め、固定的な役割分担による社会制度や慣行が男女の社会における自由な活動を阻害するとのないよう、あらゆる機会を通じた意識改革をめざします。

1 身近なことから学べるまち（男女平等意識の啓発・情報提供）

男女の役割や違いについて、市民が互いの考え方や男女共同参画社会のあり方を語り合い、学べる機会の充実に努めるとともに学習情報の提供に努め、身近なことから男女平等意識を育むことのできるまちをめざします。

■重点目標■

項目	現状 (H16)	目標指標 (H22)
市内事業所への啓発活動 (マニュアル等の配布、講師の派遣等)	未実施	すべての事業所

■市民の目標■

- 男性** 女性の社会参画への理解を深め、協力しましょう。
- 女性** 地域社会や職場において、積極的にリーダーシップを發揮し、参画しましょう。
- 駆け出せ** 男女共同参画社会の必要性や理念に関心を持ち、自ら参画しましょう。

2 幼い頃から学ぶまち（学校教育・保育の推進）

子どもの頃から男女平等に対する正しい意識や考え方を育めるよう、性別にかかわりなく子ども一人ひとりの個性を尊重し、のびやかな教育と保育の実践に努めます。

■重点目標■

項目	現状 (H16)	目標指標 (H22)
学校教職員への啓発活動 (マニュアル等の配布、講師の派遣等)	—	全小学校
保育所職員への啓発活動 (マニュアル等の配布、講師の派遣等)	—	全保育所

■市民の目標■

- 駆け出せ** 児童の性別による固定的な役割分担の考え方を見直しましょう。

学校教育や保育における男女共同参画社会の必要性に関心を持ち、自ら行動しましょう。また、家庭生活での家事を子どもとともに分担しましょう。

3 大人こそ学ぶまち（社会教育の推進）

社会教育、生涯学習の機会を通じて、歴史的・文化的・社会的に形成されてきた男女の性別による固定的な役割分担・偏見等の見直しについて、男女がともに学び合い、支え合う男女共同参画社会のまちづくりをめざします。

■重点目標■

項目	現状 (H17)	目標指標 (H22)
男女共同参画セミナーの開催	3回	6回

■市民の目標■

- 男性** 性別による固定的な役割分担の考え方を見直しましょう。
- 女性** 家庭や地域、職場において積極的に性別による固定的な役割の見直しを求めましょう。
- 駆け出せ** 講座や学習会への積極的な参加と学んだことを実践しましょう。

4 国際社会に学ぶまち（国際理解の啓発）

世界的な男女共同参画社会の潮流に学びながら、男女が国籍や人種、民族、出身という違いを超えて互いの尊厳を認めながら多様な文化、価値観を共有し合う、世界に開かれたまちづくりを進めます。

■重点目標■

項目	現状 (H16)	目標指標 (H22)
国際交流・協力事業	—	5回
外国語学習講座の開催	—	5講座

■市民の目標■

- 駆け出せ** 国際交流活動や国際理解学習に積極的に参加しましょう。居住外国人との交流に努めましょう。



◆議会における女性議員の割合

議員数	うち女性	構成比
30人	1人	3.3%

平成17年4月1日現在

◆家族経営協定締結農家数

農家数(※)	締結農家数	構成比
2,788戸	5戸	0.2%

平成16年度
資料：農家数は2005年農林業センサスによる販売農家（概数値）

◆住民意識調査結果「平日の仕事・家事労働時間」

就労者平均(※)

	全 体	男 性	女 性
合 計	11時間36分	10時間24分	11時間12分
仕 事	8時間30分	9時間6分	7時間54分
家 事	3時間6分	1時間18分	3時間18分

非就労者平均(※)

家 事	3時間6分	2時間18分	4時間42分

※記入者の平均。0時間や無回答は除く。
※非就労者は学生を除く家事専業、無職。
※ここでいう家事には子育て、介護は含まない。